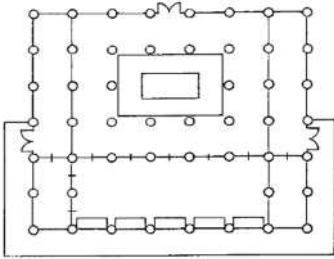
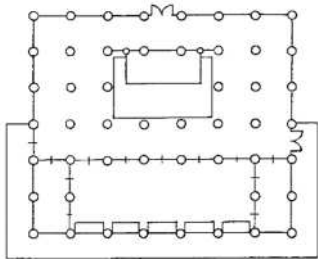
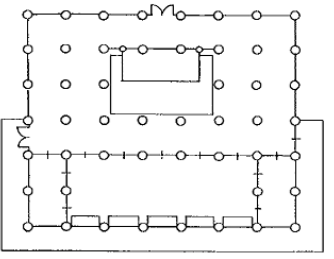
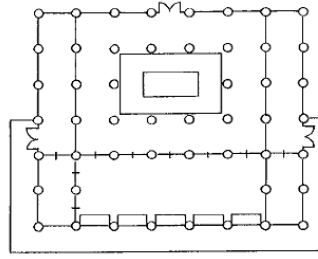


31	31 21 xiii xi iii	頁
<p>図2 左下</p>	<p>図2 左上 8行 8行 7行 6行</p>	<p>訂正箇所</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>礼堂を取り込んだ二層の大講堂 (元弘二年 1332 上棟および永享九年 1437 着工の現建物)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>正堂を二層にした講堂 (貞永元年 1232)</p> </div> </div>	<p>近代か (1) 屋敷地の規模と建物配 (3) 姫路城下の町家の建築的特色 平成十一年三月</p>	<p>誤</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>礼堂を取り込んだ二層の大講堂 (元弘二年 1332 上棟および永享九年 1437 着工の現建物)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>正堂を二層にした講堂 (貞永元年 1232)</p> </div> </div>	<p>近代化 (1) 屋敷地の規模と建物配置 (3) 姫路城下の町家の建築的特色 平成十一年六月七日</p>	<p>正</p>

頁	訂正箇所
<p>541 540 536 534 512 509 507 466 453 420 397 385 365 195 195 116 108 107 106 106 82</p>	<p>17 2 15 3 3 9 14 写真 14 1 21 2 13 写真 写真 7 4 16 6 6 5 行 行 行 行 行 行 行 508 行 行 行 行 228 226 行 行 行 行 行 行</p>
<p>「藩封学館」 京橋口傍 大塩町の中村家住宅 余子浜旧集落の東南端 一端 一端 国道二五線 旧竹久家屋敷 九亀藩 明輪館 一六世紀前期 乗せる 飾東郡山崎 大覚寺本堂来迎柱詳細 大覚寺本堂向拝詳細 大広間の北 三棟 中心寺院としての地位を失い現在に至っていない。</p>	<p>誤</p>
<p>「藩封学館」 内京口傍 余子浜旧集落の西南端的形町の中村家住宅 一旦 一旦 国道二五〇号線 山中家屋敷 丸亀藩 明輪館 一五世紀前期 載せる 飾東町山崎 大覚寺本堂来迎柱詳細 大覚寺本堂向拝詳細 大広間の西 四棟 行政寺院としての機能を失い宗派内の由緒寺として現在に至っている。</p>	<p>正</p>

頁	訂正箇所	
551	4行	蒲田村・英加村の「固寧倉記」
554	10行	宝暦七年（一七五九）
557	9行	「固寧倉新造立仕立帳」
560	上1行	所有者名
569	2行	あるは
630	写真610	有本悦蔵所蔵
631	1行	（有本悦蔵文書）
687	写真671・672・673 ・図395・396	旧浅見家
725	16行・写真718	元田原郡役所
739	11行	淳心学院
760	11行	に設立された網干銀行の本店
784	2行	（写真760）
786	写真	写真762 ポンプ室
786	写真	写真763 浄水場付属施設
786	写真	旧浅見家
卷末 8	右列 15・16行	大覚寺本堂向拝詳細
卷末 14	右列 4行	大覚寺本堂来迎柱詳細
卷末 14	右列 7行	大覚寺本堂来迎柱詳細
卷末 16	左列 8・9	西勝寺
卷末 22	・10・11行 左列 31・32 ・33行	旧浅見家
卷末 23	左列 27行	元田原郡役所
		誤
		正
		蒲田組・英加組の「固寧倉記」
		宝暦七年（一七五七）
		「固寧倉新造立仕法帳」
		清瀬一郎文書
		あるいは
		有本悦造所蔵
		（有本悦造文書）
		旧朝見家
		元神崎郡役所
		淳心学院
		に網干銀行の支店
		削除
		写真763 浄水場付属施設
		写真762 ポンプ室
		旧朝見家
		大覚寺本堂来迎柱詳細
		大覚寺本堂向拝詳細
		西照寺
		旧朝見家
		元神崎郡役所